

小学校での修学旅行

昨年から初めての小学校勤務で戸惑うことも多くありましたが、今年初めて修学旅行の引率をしました。今年は昨年に引き続き長崎へ行きました。中学校の修学旅行はとても大変で、子どもたちを如何に夜、寝させるかが課題でした。そうしないと昼のバスの中で寝たり、見学中にボーッとしたりすることが多いからです。しかし、小学校の修学旅行を引率して驚きました。確かに夜は興奮して寝付けない子どもいたようですが、野矢の6年生は比較的良く寝たようでした。

また、初日の平和学習でも原爆資料館の見学、被爆体験者の講話、原爆に関わるフィールドワークのどれをとっても、しっかり見学し、話しに耳を傾け、メモを取るといった姿勢で臨むことができました。また、グラバー園の見学や買い物、ハウステンボス、食事時間なども楽しむことができました。本当に有意義な2日間を送ることができました。

これまで、学校の平和授業や社会科で学習をしていますが、やはり現地に行っ様々な体験をすることは意義が大きいと感じました。「百聞は一見に如かず」を実感できた修学旅行でした。

数年前から九重町の6年生は合同で修学旅行を行っています。6校の取組を合わせるといった作業は大変な時間を使います。しかし、来年、中学校に進学したときに、修学旅行で同じ時間と場所を共有できたことやバス代などを縮減できることは大きなメリットでもあります。保護者の皆さまには、児童の送迎などにご協力いただきありがとうございました。

令和5年度

10月20日

第10号

校長 小幡英二



野矢小学校のホームページに写真のせなど多く載せています。QRコードをダウンロードしてください。



絵画の寄贈

野矢小学校の食育に長年携わっていただいていた、故 日野春喜 様のご家族から絵画を1点寄贈していただきました。子どもたちが見られるように職員室入り口の所に飾っています。心から感謝いたします。

野矢小学校には多くの絵画や卒業作品が飾られています。きっと懐かしいものもあると思います。野矢小学校に来校され、時間がある場合は是非見て頂きたいと思います。



令和5年9月 日野春喜 様 寄贈
Dのほろろ
故 日野春喜様 所蔵

えんぴつ作り

10月25日の図工の時間に、戸高さん夫妻に来ていただきえんぴつ作りをしました。木や環境についてのお話をしていただいた後にヒノキを使用したえんぴつ作りの作業の説明をしていただき、実際にえんぴつを作りました。えんぴつ作りで一番難しいことは、小刀を使って樹皮をはいたり、芯を出すために削る作業でした。特に低学年は、まだ、指の力が弱いために苦労したようでした。作業工程としては、①樹皮をはぐ。②紙やすりをかけて表面をきれいに磨く。③のこぎりで自分が好きな長さに切る。④芯を出すために削る。⑤電気ごてで名前やイラストを入れる。といったもので、そんなに難しい作業はなく、戸高さんたちや先生の力を一部借りた子どももいましたが、子どもたちは自分一人の力で作り上げようと頑張り、全員が作り上げることができました。できあがったえんぴつを見て満足そうな顔をしていました。

長崎県で小学生がカッターナイフを使った事件が起きて、学校現場では一時、カッターナイフやハサミを使うことに賛否がありました。私は中学校の技術科を指導していましたので、刃物を使うことは当然でしたから、生徒たちには普通に使わせていました。要は道具の安全な使い方をきちんと教えることが重要です。ナイフだけでなくタブレットなども使い方を間違わなければ、大変役に立つ道具です。触れる機会を奪うより触れさせて使い方を学ぶことがとっても重要です。一度、親子でえんぴつ削りに挑戦してみてもどうでしょうか？また、時間があるときは包丁を使って一緒に料理を見て下さい。子どもの成長を感じると思います。

忙しい中、準備と指導をして頂きました戸高さん、大変ありがとうございました。

令和5年度

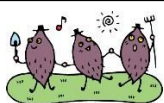
11月 2日

第 11号

校長 小幡英二



野矢小学校のホームページに写真のせなど多く載せています。QRコードでダウンロードしてください。



芋の収穫

今年も何とか芋を収穫することが出来ました。6月に苗を植えイノシシにやられることもなく、収穫まで行うことができました。大きな芋を収穫し、子どもたちも笑顔いっぱいでした。管理をして頂いたPTA会長の佐藤さんありがとうございました。



学校文化祭へのご支援ありがとうございました

11月18日に学校文化祭を開催しました。今年はコロナ禍以前の文化祭にということで、午前中は児童の学習成果の発表を中心に、午後は野矢校区活性協議会と協力した取組を行いました。

朝から強風が吹き、雪も舞った寒い日でしたが、多くのご来賓、地域の方々、保護者の皆さんにご支援を頂きながら開催することができました。児童の発表では、4・5年生の英語劇「WHITE RABBITS of INABA」、全校音楽発表「ミッキーマウス・マーチ、大切なもの」、6年生の修学旅行をテーマにした劇、郡教育文化祭話し方大会出場者の発表、2・3年生の給食センター見学をテーマにした劇、全校人権劇「命をいただく」がありました。その他、教職員と保護者の出し物がありました。午後については、野矢校区活性協議会主催の平家川橋20周年記念式典等、縄ないと干し柿作り指導を行っていただきました。子どもたちは、文化祭のために一所懸命に練習をし、本番では堂々と演技や発表を行うことができ、多くの拍手をいただきました。一人ひとりの出番があり、主体的に取り組む姿を見ていただき評価していただいたことを本当に嬉しく思います。地域とともにある学校ということを学校の目標の1つとして取り組んできて良かったと思います。子どもたちが大きくなったときにこれらの経験が生きてくると思います。今回の開催にあたり、ご協力とご支援をいただいた保護者の皆さま、午後の行事を開催していただきました野矢校区活性協議会の皆さま、作品を提供していただきました地域の方々に心よりお礼申し上げますとともに、今後も野矢小学校の子どもたちのためにご支援をいただきますようお願いいたします。文化祭のようすを学校のホームページに掲載していきますのでどうぞご覧下さい。

九重町立野矢小学校

野矢っこだより

令和5年度

11月 29日

第 12号

校長 小幡英二



野矢小学校のホームページに写真など多くの情報を載せています。QRコードです。ご覧下さい。

ここのえ学園第2回つながり学習

来年入学する園児4名が来て、2・3年生と交流しました。第1回はリーダーとなる高学年と交流し、第2回は入学したときのようなすがたでもわかるようにと、低学年と交流しました。学校探検や鬼ごっこなどを一緒に行い、交流を深めました。今年度は入学生がいなくて少し寂しい思いもしましたが、来年の入学を心より楽しみに待っています。

